

『劇団6年2組』 吉野万理子/著 宮尾和孝/絵 (学研教育出版)

~あらすじ~

卒業前の発表会で、芝居をすることになった6年2組。四苦八苦する立樹たちに意地悪をいう慶司。実は、慶司は小さいころ子役でいやな思いをしたのだった。「シンデレラ」の台本に決まるが、演じていくうちにセリフを変え、自分たちの芝居を目指すことになる。



~選定委員の感想より~

- ●自分のクラスと似ているところがあって, す ごく共感できて感動的でした。
- ●クラスひとりひとりの個性が光っていた。
- ●最初はバラバラだった6年2組が劇団を作り どんどん深まっていくクラスの絆に感動しま した。
- ●6年2組の友情が伝わってきてよかったです。
- ●私も6年2組に入ってみたいと思いました。
- ●まだ一度も劇をやった事がない6年2組の人達が劇をやるというのに、わくわくしながら読めて、読んでいても楽しかったです。

うつのみやこども賞とは?

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。今年度は、20名の子ども達が選定委員として頑張ってくれました。みなさんもぜひ読んでみてください。

年間選定図書一覧

こんなにたくさん読みました!

0	月日	書名	著者名	出版社
1	6/3	○妖怪一家 九十九さん	富安陽子	理論社
		雪ぼんぼりのかくれ道	巣山ひろみ	国土社
		ぼくとおじちゃんとハルの森	山末やすえ	くもん出版
		公平,いっぱつ逆転!	福田隆浩	偕成社
2	7/1	リンデ	ときありえ	講談社
		かなと花ちゃん	富安陽子	アリス館
		夢見の猫 風の犬宮	牧野礼	くもん出版
		○転校生は忍びのつかい	加部鈴子	岩崎書店
3	8/5	天空町のクロネ	石川宏千花	講談社
		○糸子の体重計	いとうみく	童心社
		お菓子の本の旅	小手鞠るい	講談社
		花実の咲くまで	堀口順子	小峰書店
4	9/2	トモダチックリの守り人	吉冨多美	金の星社
		○鷹のように帆をあげて	まはら三桃	講談社
		12月の夏休み	川端裕人	偕成社
		夜明けの落語	みうらかれん	講談社
	10/7	バク夢姫のご学友	柏葉幸子	偕成社
5		ゆびわがくれたブレゼント	田沢五月	ボブラ社
J		○ボテトサラダ	福明子	学研教育出版
		グッバイ マイ フレンド	福田隆浩	言葉言炎之土
	11/4	○よるの美容院	市川朔久子	講談社
 6		カンナ道のむこうへ	くぼひでき	小峰書店
0		お父ちゃんの音や!		文研出版
		魂を追う者たち	廣嶋玲子	講談社
	12/2	空へのぼる	八束澄子	請請炎社
7		お父さん、牛になる		福音館書店
,		○世界一かわいげのない孫だけど・・・	荒井寛子	ボブラ社
		ゆうれい回転ずし 本日オーブン!	佐川芳枝	言著言炎之土
8	1/6	ハンナの記憶	長江優子	講談社
		Oラビットヒーロー		言萬言炎 补土
0		100回目のお引っ越し	後藤みわこ	講談社
		○ヘンダワネのタネの物語	新藤悦子	ボブラ社
9	2/3	黒ねこガジロウの優雅な日々	丘修三	文渓堂
		◎劇団6年2組	吉野万理子	学研教育出版
		僕たちのブルーラリー	衛藤圭	朝日学生新聞社
		ぼくたちの骨	樫崎茜	言著言炎 社
10	3/3	Oオレたちの明日に向かって	八束澄子	ポプラ社
		希望への扉 リロダ	渡辺有理子	アリス館
		かえだま	小森香折	朝日学生新聞社
		○夜の学校 ○60は「月の本」 ◎は「うつのみやこども値	田村理江	文研出版

○印は「月の本」◎は「うつのみやこども賞」決定したほんです。

